

令和5年度学校評価結果について

学校評価に対する、2学期末に行ったアンケートにつきまして、多数の保護者の皆様に御協力をいただき、ありがとうございました。2月7日(水)には、学校関係者評価委員会を開催し、学校評価集計結果をもとに学校評価委員様から多くの御意見・御評価をいただきました。これらをもとに、内宮中学校の今後の指導に生かしていきたいと考えております。

評価領域	評価指標	対象	総合判定	評価平均	○成果 ◇改善策
教育課程・学習指導	学校は、松山の授業モデルをもとに、一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	教職員	A	3.5	○松山の授業モデルをもとに、教員が工夫し、実感を得ることができている。 ◇参観日への積極的な参加を呼び掛けることで、評価につなげる。
		学校関係者		3.2	
	学校は、教科等の指導においてタブレットの活用等、効果的にICT機器を活用している。	教職員	A	3.5	○教員が積極的にICT機器を活用している。 ◇効果的にICT機器を活用することについては、研修や教員間の情報共有を進める。
		学校関係者		3.3	
人権・同和教育・生徒指導	学校は、児童生徒の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている。	教職員	A	3.3	○全国学力学習状況調査や10分間集中テストで、成果が上がっている。 ◇データ分析を的確に行い、教科に応じて具体策を行う。
		学校関係者		3.1	
	学校は、人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。	教職員	A	3.6	◇タブレットを使用したアンケートを行うことで、情報収集スピードをあげ、対応につなげる。 ◇教職員の研修を行うなど、教職員自身がいじめや差別を許さない意識をさらに高める。
		学校関係者		3.2	
キャリア教育	学校は、「学校のきまり」など生徒指導体制の見直しを行い、児童生徒の実態に応じた適切な指導を行っている。	教職員	A	3.3	◇校則検討委員会で生徒の意見を取り上げることで、実態に応じた適切な指導に生かす。
		学校関係者		3.3	
	学校は、将来に夢をもち、自分の進路や生き方について考える児童生徒を育てている。	教職員	A	3.3	○職場体験学習や高校見学等の実施により、進路や生き方について考えさせることができている。 ◇タブレットを活用するなどした教材の工夫を行う。
		学校関係者		3.1	
安全管理	学校は、児童生徒に交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。	教職員	A	3.6	○交通安全について、地域の方からの情報など、校内放送や朝の会・終わりの会で呼び掛けを迅速に行うことができている。
		学校関係者		3.4	
保健管理	学校は、家庭と連携して個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、児童生徒の健康保持・増進に努めている。	教職員	A	3.6	○毎朝健康観察を行うことで、生徒の健康状態が把握できている。
		学校関係者		3.4	
	学校は、「換気の確保」や「手指衛生等の指導」など、状況に応じた感染症対策を適切に行っている。	教職員	A	3.6	○「換気の確保」を授業後に呼び掛けることで、確実な換気ができている。
		学校関係者		3.4	
特別支援教育	学校は、特別支援教育の視点をもって取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。	教職員	A	3.2	○定期テスト前の放課後学習相談やITによる指導により、個に応じた指導ができている。 ◇授業のユニバーサルデザイン化を目指し更に授業改善に努める。
		学校関係者		3.3	
組織運営	学校は、管理職や学年主任等を中心とした組織的な対応を行っている。	教職員	A	3.3	◇管理職に対する報・連・相を確実に行うことで、迅速で組織的な対応を適切に行う。
		学校関係者		3.2	
研修	学校は、子どもたち一人一人が分かる授業づくりや、様々な教育課題への対応のため、積極的に研修に取り組んでいる。	教職員	A	3.4	○研修主任が、様々な研修の呼び掛けを行うことで、積極的な研修に取り組むことができている。 ◇校内研修の時期・時間、やり方を工夫することで、より積極的な研修になるようにする。
		学校関係者		3.2	
保護者・地域との連携・情報提供	学校は、教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	教職員	A	3.2	○地域のボランティア活動の情報発信を積極的に行うことができている。 ◇ホームページやマックメールも利用し、情報発信を積極的に行う。
		学校関係者		3.2	
	学校は、学校・学年だよりやホームページ、メール等により、積極的に情報を発信している。	教職員	A	3.7	○ホームページで、各学年や授業への取組状況を、頻繁に発信することができている。 ◇アプリケーションソフトを利用し、プリント配布を行う。
		学校関係者		3.5	
教育環境	学校は、言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている。	教職員	A	3.5	○水曜日の朝、言語活動を実践することで、生徒の表現力が高まっている。 ○学年玄関や廊下等、季節や行事に対応して工夫を凝らした展掲示を行っている。
		学校関係者		3.2	
幼保小中連携	学校は、小1プロブレムや中1ギャップの解消につなげるために関係園・校で連携し、児童生徒の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。	教職員	B	3.1	○入学前情報交換を行うことにより、児童についての理解を深め、指導に生かすことができている。 ◇入学前に中学校の生活を紹介したり、部活動見学を行ったりして、不安感の軽減を図る。
		学校関係者		3.1	
	学校は、教育の質の向上のために関係園・校で連携し、学校間の系統性を重視した学習指導を行っている。	教職員	A	3.1	○小学校で中学校教員が授業に参加し、学習指導を行うことで、中学校での授業に生かすことができている。 ◇進路指導において、キャリアパスポートを適切に活用し、小学校からの系統性を持たせた指導の充実を図る。
		学校関係者		3.1	
	学校は、関係園・校で連携し、児童生徒に対する教職員の理解や、児童生徒の相互理解の促進を図っている。	教職員	B	3.2	◇市幼保小中連携推進事業研究指定校として、学習指導・生徒指導等、様々な活動で関係小学校と連携を深める研究を継続して行う。
		学校関係者		3.1	

【評定】 4:とても思う(あてはまる) 3:やや思う(あてはまる) 2:あまり思わない(あてはまらない) 1:全く思わない(あてはまらない)

【総合判定】 A:肯定率の平均が90%以上 B:肯定率の平均が60%以上90%未満 C:肯定率の平均が60%未満

令和5年度 内宮中学校学校評価 各年度比較(教職員・保護者)

【評価】 4:とても思う(あてはまる) 3:やや思う(あてはまる)
2:あまり思わない(あてはまらない) 1:全く思わない(あてはまらない)

【総合判定】 A:肯定率の平均が90%以上
B:肯定率の平均が60%以上90%未満
C:肯定率の平均が60%未満

※ 肯定率とは、評価(%)の評価4と評価3の合計値です。

評価 領域	評価指標	対象	令和5年度							令和4年度							令和3年度						
			総合 判定	肯定率	評価(%)				評価 平均	総合 判定	肯定率	評価(%)				評価 平均	総合 判定	肯定率	評価(%)				評価 平均
					4	3	2	1				4	3	2	1				4	3	2	1	
教育 課程 ・ 学習 指導	学校は、一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	教職員	A	100	46	54	0	0	3.5	A	100	39	61	0	0	3.4	A	95	25	70	5	0	3.2
		保護者		94	29	65	6	0	3.2		89	25	64	10	1	3.1		90	12	78	10	0	3.0
	学校は、教科等の指導においてタブレットの活用等、効果的にICTを活用している。	教職員	A	91	55	36	9	0	3.5	A	93	54	39	4	3	3.4	B	85	10	75	15	0	3.0
		保護者		94	34	60	6	0	3.3		93	41	52	6	1	3.3		85	20	65	14	1	3.0
	学校は、児童生徒の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている。	教職員	A	100	32	68	0	0	3.3	A	95	50	45	5	0	3.5	B	90	10	80	10	0	3.0
		保護者		86	21	65	13	1	3.1		91	37	54	8	1	3.3		84	16	68	16	0	3.0
人権・ 同和 教育 ・ 生徒 指導	学校は、人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。	教職員	A	100	55	45	0	0	3.6	A	97	39	58	3	0	3.4	B	85	20	65	15	0	3.1
		保護者		90	35	55	9	1	3.2		87	28	59	12	1	3.1		94	18	76	6	0	3.1
	学校は、「学校のきまり」など生徒指導体制の見直しを行い、児童生徒の実態に応じた適切な指導を行っている。	教職員	A	91	36	55	9	0	3.3	A	100	46	54	0	0	3.5	B	65	15	50	35	0	2.8
		保護者		96	31	65	4	0	3.3		90	38	52	9	1	3.3		94	28	66	6	0	3.2
	学校は、将来に夢を持ち、自分の進路や生き方について考える児童生徒を育てている。	教職員	A	96	36	60	4	0	3.3	A	90	25	65	5	5	3.1	B	75	10	65	25	0	2.9
		保護者		84	29	55	15	1	3.1		90	36	54	9	1	3.3		83	14	69	17	0	3.0
安全 管理	学校は、児童生徒に交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。	教職員	A	100	60	40	0	0	3.6	A	96	30	66	4	0	3.3	A	95	40	55	5	0	3.4
		保護者		96	43	53	4	0	3.4		85	30	55	12	3	3.1		96	26	70	3	1	3.2
保健 管理	学校は、個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、児童生徒の健康保持・増進に努めている。	教職員	A	100	63	37	0	0	3.6	A	100	57	43	0	0	3.6	A	100	60	40	0	0	3.6
		保護者		96	42	54	4	0	3.4		89	36	53	7	4	3.2		98	30	68	2	0	3.3
	学校は、「換気の確保」や「手指衛生等の指導」など、状況に応じた感染症対策を適切に行っている。	教職員	A	100	63	37	0	0	3.6														
		保護者		96	43	53	4	0	3.4														
	学校は、「3つの密」を徹底的に避ける、「マスクの着用」及び「手洗いなどの手指衛生」など、校内における新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	教職員								A	100	50	50	0	0	3.5	A	95	45	50	5	0	3.4
		保護者									94	38	56	5	1	3.3		96	46	50	4	0	3.4
特別支 援教育	学校は、特別支援教育の視点をもって取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。	教職員	A	96	27	69	4	0	3.2	A	100	63	37	0	0	3.6	B	65	0	65	35	0	2.7
		保護者		96	34	62	4	0	3.3		94	40	54	5	1	3.3		82	22	60	17	1	3.0
組織 運営	学校は、(新型コロナウイルス感染症対策や相談事業等、)管理職や学年主任等を中心として組織的に対応を行っている。	教職員	A	91	36	55	9	0	3.3	A	97	30	67	3	0	3.3	A	90	40	50	10	0	3.3
		保護者		91	33	58	9	0	3.2		92	34	58	6	2	3.2		92	32	60	8	0	3.2
研修	学校は、子どもたち一人一人が分かる授業づくりや、様々な教育課題への対応のため、積極的に研修に取り組んでいる。	教職員	A	95	40	55	5	0	3.4	A	100	38	62	0	0	3.4	B	75	10	65	25	0	2.9
		保護者		89	30	59	10	1	3.2		88	34	54	10	2	3.2		74	8	66	26	0	2.8
保護者・ 地域と の連携 ・ 情報 提供	学校は、教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	教職員	A	96	27	69	4	0	3.2	A	97	39	58	3	0	3.4	B	90	20	70	10	0	3.1
		保護者		87	30	57	13	0	3.2		90	33	57	9	1	3.2		80	16	64	20	0	3.0
	学校は、学校・学年だよりやホームページ等により、積極的に情報を発信している。	教職員	A	100	68	32	0	0	3.7	B	88	23	65	12	0	3.1	A	95	50	45	5	0	3.5
		保護者		96	53	43	3	1	3.5		88	29	59	8	4	3.1		86	24	62	14	0	3.1
教育環 境設備	学校は、(板書の工夫等の)言語活動の整備及び展示の充実等の環境整備に努めている。	教職員	A	100	45	55	0	0	3.5	A	100	26	74	0	0	3.3	B	90	30	60	10	0	3.2
		保護者		94	25	69	5	1	3.2		91	34	57	7	2	3.2		84	16	68	16	0	3.0
幼保小 中連携	学校は、小1プロブレムや中1ギャップの解消につなげるために関係園・校で連携し、児童生徒の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。	教職員	B	82	27	55	18	0	3.1	B	64	0	64	36	0	2.6	B	70	20	50	30	0	2.9
		保護者		86	23	63	12	2	3.1		80	27	53	18	2	3.1		76	16	60	23	1	2.9
	学校は、教育の質の向上のために関係園・校で連携し、学校間の系統性を重視した学習指導を行っている。	教職員	A	91	22	69	9	0	3.1	B	66	0	66	34	0	2.7	B	60	15	45	40	0	2.8
		保護者		90	23	67	8	2	3.1		84	27	57	15	1	3.1		71	8	63	28	1	2.8
	学校は、関係園・校で連携し、児童生徒に対する教職員の理解や、児童生徒の相互理解の促進を図っている。	教職員	B	91	31	60	9	0	3.2	B	64	11	53	36	0	2.8	B	60	10	50	40	0	2.7
		保護者		85	23	62	14	1	3.1		83	28	55	15	2	3.1		65	8	57	33	2	2.7

令和5年度 内宮中学校学校評価 各年度比較(生徒)

【評定】 4:とても思う(あてはまる) 3:やや思う(あてはまる)
2:あまり思わない(あてはまらない) 1:全く思わない(あてはまらない)

【総合判定】 A:肯定率の平均が90%以上
B:肯定率の平均が60%以上90%未満
C:肯定率の平均が60%未満

※ 肯定率とは、評定(%)の評定4と評定3の合計値です。

評価 領域	評価指標	対象	令和5年度							令和4年度							令和3年度						
			総合 判定	肯定率	評定(%)				評定 平均	総合 判定	肯定率	評定(%)				評定 平均	総合 判定	肯定率	評定(%)				評定 平均
					4	3	2	1				4	3	2	1				4	3	2	1	
教育 課程・ 学習 指導	授業では学習内容が理解できている。	生徒	A	90	27	63	9	1	3.2	A	90	26	64	9	1	3.1	A	94	10	84	6	0	3.0
	学校で、タブレットの活用を積極的に行っている。	生徒	A	90	38	52	10	0	3.3	A	92	54	38	8	0	3.5	A	98	60	38	2		3.6
	意欲を持って真剣に授業に取り組んでいる。	生徒	A	92	51	41	7	1	3.4	A	91	41	50	8	1	3.3	A	90	38	52	10	0	3.3
人権・同 和 教育・ 生徒 指導	いじめや差別を許さない。	生徒	A	98	84	14	1	1	3.8	A	98	82	16	1	1	3.8	A	97	76	21	3	0	3.7
	ものを大切にすることや、学校のルールを守ることができている。	生徒	A	98	71	27	2	0	3.7	A	99	71	28	1	0	3.7	A	96	78	18	4	0	3.7
キャリア 教育	将来の夢を持って、自分の進路について真剣に考えている。	生徒	B	74	36	38	22	4	3.1	B	78	40	38	18	4	3.1	B	82	29	53	13	5	3.1
安全 管理	交通安全やけが等の防止について、気を付けている。	生徒	A	97	72	25	3	0	3.7	A	99	73	26	1	0	3.7	A	100	75	25	0	0	3.8
保健 管理	自分や周囲の人の健康状態に気を付けて生活している。	生徒	A	95	59	36	4	1	3.5	A	95	65	30	4	1	3.6	A	98	57	41	2	0	3.6
	手指をしっかりと洗うなど、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどへの対策を行っている。	生徒	A	93	58	35	5	2	3.5														
	周囲に気がつかない、新型コロナウイルス感染症対策を行っている。	生徒								A	98	68	30	2	0	3.7	A	93	73	20	5	2	3.6
特別支 援教育	一人一人を大切にしながら、生活できている。	生徒	A	99	70	29	1	0	3.7	A	98	75	23	1	1	3.7	A	100	60	40	0	0	3.6
保護者・地域と の連携・ 情報 提供	地域の行事や、ボランティア活動などに積極的に参加している。	生徒	C	50	17	33	35	15	2.5	C	46	19	27	38	16	2.5	C	57	23	34	28	15	2.7
	学校のホームページを気を付けて見ている。	生徒	C	49	22	27	29	22	2.5	C	55	23	32	29	16	2.6	B	62	21	41	31	7	2.8
教育 環境	清掃活動等、学校の環境整備に熱心に取り組んでいる。	生徒	A	95	58	37	4	1	3.5	A	96	62	34	3	1	3.6	A	98	47	51	2	0	3.5
幼小 小中 連携	小学校から学習した(今まで学習した)内容を、中学校で生かして学習に取り組んでいる。	生徒	A	90	40	50	8	2	3.3	B	89	43	46	10	1	3.3	A	91	23	68	7	2	3.1